

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
南島原市	有家地区(有家集落)	平成25年7月	令和3年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	166.3 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	95.6 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	35.3 ha
i うち後継者未定または不明の農業者の耕作面積の合計	29.1 ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	11.6 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

アンケート結果によると、有家町の縮小・離農したい耕作面積が29.78haに対し、拡大したい中心経営体の意向面積が17.5haと少なく、新たな農地の受け手の確保が必要である。有家地区は、後継者が少なく、兼業農家も多いため将来的な担い手不足が深刻である。また、道路・排水路の整備も不十分であるため、現状では他地区からの担い手の入作も見込めない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

基盤整備の必要性は地域としては理解しているが、施設栽培が多いことなど、地域として事業実施は困難である。現状のままでは、地区外からの担い手の確保は望めない。道路が狭いと借り手が見つからないため、道路整備等の検討が必要である。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

規模縮小・離農により、耕作放棄地とならないよう中山間直接支払制度を活用し、農地の保全に努める。また、道路・排水路等の整備により耕作条件を整えることにより、農地中間管理事業を活用し地区外からの担い手を受け入れる環境づくりに取り組む。